鹿県軟野連第２６号
令和２年６月１５日

県連各支部長　様

鹿児島県軟式野球連盟
会長　稲　葉　直　寿
（公印省略）

大会等（県・支部・冠大会を含む）の開催に伴うＪＳＢＢ感染予防対策ガイドラインについて（取りまとめ要点）

６月９日付けでホームページに掲載した公益財団法人全日本軟式野球連盟の「ＪＳＢＢ感染予防対策ガイドライン改訂」について、要点を取りまとめたので、県大会は及び末端支部大会並びに冠大会の開催、それにかねての練習に際しましてはこの取りまとめ要点を遵守の上、練習や大会等を実施して頂きますようお願いいたします。

記

【添付資料】
◇ＪＳＢＢ感染予防対策ガイドライン改訂版（６月４日改訂）
『感染予防対策①』
□　大会（ｲﾍﾞﾝﾄ）開催時における注意事項（№１）
（１）参加申込時の対応（参加者への事前注意事項）
□　大会開催時における注意事項（№２）
（２）大会開催時における注意事項
□　主催者対応（№３）

『感染予防対策②』
□　各チームの日々の活動再開における注意事項（№３）

『熱中症対策について』
□　日々の活動、大会・試合開催時の共通の注意事項（№４）
□　指導者・コーチが特に注意する点（№４）

『健康チェックシート』
□　主催者用健康チェックシート
□　チーム用　　〃
※　大会等では、試合当日健康チェックシート（氏名・住所・連絡先・風邪の有無・だるさ息苦しさ・味覚等の有無・体温を記入）を作成し提出することになります。

ＪＳＢＢ感染予防対策ガイドラインの要点

【感染予防対策①】

□　大会開催時における注意事項

（２）参加者、主催者の対応　　No.2

	参加者の対応	主催者の対応
1	・選手等は検温して来場し、チーム代表者は選手の当日の健康状態等を聞いて、「健康チェックシート」に記入し、遅くとも攻守決定時までには大会本部に提出すること。	・大会本部に提出（提出ない場合出場不可） ・参加チームの他、大会運営スタッフ、審判員にも「健康チェックシート」を提出させること。
2	・人との距離を２メートル確保する。また、ﾍﾞﾝﾁ内では一定間隔を保つ努力をする。	・主催者も常に注視し協力を求める。
3	・練習・試合では、全選手が密集・密接する円陣や声だし、整列は控える。 ・肌が触れ合うﾊｲﾀｯﾁは行わず、他のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ方法を模索する。	・試合前の整列は、監督又はｷｬﾌﾟﾃﾝ同士の挨拶にする。（両ﾁｰﾑを整列させない。） ・主催者側も常に密接がないよう注視する。
4	・競技中のﾏｽｸ着用は、選手、審判員の判断とするが、ﾍﾞﾝﾁ内にいるときは全員マスク着用が望ましい。 （熱中症予防に配慮すること）	・連盟では球審のﾏｽｸ着用が望ましい。 （義務付け無） ※例 － プロ野球では攻撃時のみ控え選手はﾍﾞﾝﾁ外で待機
5	・応援者については、観客席が「蜜」にならないよう一定の距離を保って観戦するようチームで応援者に注意喚起する。	・主催者は、入口などに注意喚起の貼り紙を行うとともに、放送で呼びかける。 ・練習・試合会場には、消毒液を設置する。 ・大声での応援は控えるように協力をお願いする。 ・ﾁｰﾑだけでなく主催者側も、観客席の状況を注視する。
6	・ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝﾉ中で試合間の時間等は、主催者が配慮するので従う。	・試合間のｲﾝﾀｰﾊﾞﾙを通常より長く設定し選手及び関係者の密集ﾘｽｸを回避する。 ・大会運営は、慣例・慣習を見直し、試合は感染症予防対策を優先し、主催者とﾁｰﾑで創意工夫する。
7	・ﾁｰﾑ内及び試合で感染者が発生した場合	・大会中止、ﾁｰﾑの活動停止

【主催者の対応】 No.3

① 感染者は発生した場合、主催者・末端支部・ﾁｰﾑは県連盟に速やかに報告し、県連盟は全日本軟式野球連盟に報告する。

□所属連盟への報告事項

発症年月日、性別、年齢、連絡先、種別（学童・少年・一般等）、直近の活動参加日、場所、参加人数、転帰（感染後の状況）

※連絡先はﾁｰﾑ責任者の連絡先が望ましい。又個人情報の提供は強制ではない。

② ﾁｰﾑ内及び大会で感染者が発生した場合は、ﾁｰﾑの活動停止並びに大会の即中止を判断し、関係者に報告すること。

③ 感染者が発生した場合、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることがないように配慮すること。

④ 各地域の実情を踏まえ、ＪＳＢＢｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ以外に必要なことを各支部で実施すること。

【感染予防対策②】

□ 各チームの日々の活動再開における注意事項

① 毎日体調ﾁｪｯｸを行い、下記の場合は参加を見合わせる。

・体調がよくない場合、又は以下の症状が疑われる場合

（例 ： 発熱、咳、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、嗅覚や味覚の異常等の症状）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

② ３つの蜜【密閉・密集・密接】の回避

・活動中、それ以外の場面も含め、周囲の人とできるだけ２ｍ以上の距離を空ける。

（介護者や誘導者の必要な場合を除く）

・強度が高い運動は吸気が激しくなるため、より一層距離を空ける。

・走るﾄﾚｰﾆﾝｸﾞにおいては、前の人の吸気の影響を受けるため、可能であれば前後一直線に並ぶことを避ける。

③ 新しい生活様式にのっとり、感染予防の意識を持つ

・ﾏｽｸ持参で、移動時や着替え自等のスポーツ活動以外の際は、できるだけﾏｽｸ着用する。

・ﾏｽｸを外して活動する場合、十分に周囲の人との距離を空ける。ﾏｽｸを着用して活動する場合は運動強度を落とす。

・目、鼻、口に極力触らないよう心掛ける。

・こまめな手洗い、ｱﾙｺｰﾙ等による手指消毒を実施する。

・ﾌﾟﾚｰ中に必要以上に大きな声で会話や応援等はしばらくの間控える。

・ﾀｵﾙ、ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ、ｺｯﾌﾟ等の共有は避ける。

・飲食は指定場所で、対面を避け距離も考える。

・ＪＳＢＢの「健康ﾁｪｯｸｼｰﾄ」を活用し、日々の体調の変化を記録する。

【熱中症対策について】

□　日々の活動、大会・試合開催時共通の注意事項

①　感染症対策とともに熱中症対策も徹底した活動計画を立てる。

・気温や湿度が上昇すると熱中症になりやすい。

・新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症の影響からｽﾎﾟｰﾂ活動が自粛されて基礎体力が低下している中で、急激な運動負荷は怪我や故障ﾘｽｸ及び、熱中症のﾘｽｸが高まる。

・気温24°C～28°Cで注意、それ以上は警戒が必要で、活動再開後しばらくは気温の低い状況での活動となるが、それでも警戒が必要である。

・夏場のﾏｽｸ着用での生活は多くの人が経験したことがなく、選手や指導者、それに大会役員や観戦者等を含めたすべての人の熱中症への一層の警戒が必要である。

□　指導者・コーチが特に注意する点

・屋外で２ｍ以上の距離が確保できる場合は、熱中症ﾘｽｸを考慮しﾏｽｸを外させる。
なお、参加者がﾏｽｸの着用を希望した場合、吸気が激しい運動を控えさせる。

・各自水筒等を準備するよう指導し、休息や水分補給の時間を積極的に設ける。

・子供（特に低身長者）は、輻射熱（知面からの照り返し熱）の影響をより受けやすいので指導者等は特に配慮が必要である。

・成長期であることを考慮し、個人のﾍﾟｰｽに合わせた活動をさせる。

・障害予防の観点から、活動の強度や時間は段階的に高め、筋力、持久力の回復に努める。
感染後活動に復帰した者については、身体機能の低下が予想されるため、活動の強度や時間に注意する。

・保護者の活動参加については、他人との距離を取り、感染予防対策を徹底すること。

□

健康チェックシート（主催者用）

【　　】

都道府県名	チーム名	フリガナ	参加人数	チーム登録番号	－	支部記入	健康チェックシート確認者	
							責任者名	

フリガナ		連絡先	自宅	〒　－	TEL　（　　）－
					FAX　（　　）－
連絡責任者氏名					携帯　　－　－
			勤務先	〒　－	TEL　（　　）－
					FAX　（　　）－

No.	業務	役職名	性別	氏名	住所(居住地)	連絡先(携帯)	年齢(現在)	風邪症状の有無(咳・鼻水・のど痛)	だるさ・息苦しさの有無	嗅覚・味覚異常の有無	体温
1								有・無	有・無	有・無	
2								有・無	有・無	有・無	
3								有・無	有・無	有・無	
4								有・無	有・無	有・無	
5								有・無	有・無	有・無	
6								有・無	有・無	有・無	
7								有・無	有・無	有・無	
8								有・無	有・無	有・無	
9								有・無	有・無	有・無	
10								有・無	有・無	有・無	
11								有・無	有・無	有・無	
12								有・無	有・無	有・無	
13								有・無	有・無	有・無	
14								有・無	有・無	有・無	
15								有・無	有・無	有・無	
16								有・無	有・無	有・無	
17								有・無	有・無	有・無	
18								有・無	有・無	有・無	
19								有・無	有・無	有・無	
20								有・無	有・無	有・無	

【注意事項】

(1) 感染者が発生した場合は、関係機関に名簿を提出することを承諾する。

(2) 主催者運営員及び審判員は、その他の参加者への安全確保のために虚偽の報告は行わないこと。

(3) 主催者運営員及び審判員が20名以上が携わる場合は、本紙をコピーして作成すること。

(4) 主催者運営委員及び審判員以外が本部席に来場の場合も明記すること。役職は「位置」に明記すること。

(5) 本紙に記載された方は、個人情報の取扱いに承諾したとみなす。

令和 2 年　　月　　日

鹿児島県軟式野球連盟　会長　　稲葉　直寿　　殿

健康チェックシート（チーム用）

【　　】

都道府県名	チーム名	フリガナ	参加人数	チーム登録番号		支部記入	健康チェックシート確認者	
							責任者名	

フリガナ		連絡先	自宅	〒　－	TEL　（　　）－
					FAX　（　　）－
連絡責任者氏名					携帯　　－　－
			勤務先	〒　－	TEL　（　　）－
					FAX　（　　）－

No.	背番号	位　置		性別	氏名	住所(居住地)	連絡先(携帯)	年齢(現在)	風邪症状の有無(咳・鼻水・のど痛)	だるさ・息苦しさの有無	嗅覚・味覚異常の有無	体温
1		責任者(部長)							有・無	有・無	有・無	
2	30	監督	専・兼						有・無	有・無	有・無	
3	10	主将/							有・無	有・無	有・無	
4									有・無	有・無	有・無	
5									有・無	有・無	有・無	
6									有・無	有・無	有・無	
7									有・無	有・無	有・無	
8									有・無	有・無	有・無	
9									有・無	有・無	有・無	
10									有・無	有・無	有・無	
11									有・無	有・無	有・無	
12									有・無	有・無	有・無	
13									有・無	有・無	有・無	
14									有・無	有・無	有・無	
15									有・無	有・無	有・無	
16									有・無	有・無	有・無	
17									有・無	有・無	有・無	
18									有・無	有・無	有・無	
19									有・無	有・無	有・無	
20									有・無	有・無	有・無	

【注意事項】

(1) 感染者が発生した場合は、関係機関に名簿を提出することを承諾する。

(2) 自チームの参加者はもちろん、その他の参加者への安全確保のために虚偽の報告は行わないこと。

(3) 20名以上が参加する場合は、本紙をコピーして作成すること。

(4) 選手以外にベンチ入りするマネージャー、スコアラー、トレーナー、おかあさん等も明記すること。役職は「位置」に明記すること。

(5) 本紙に記載された方は、個人情報の取扱いに承諾したとみなす。

令和 2 年　　月　　日

鹿児島県軟式野球連盟　会長　　稲葉　直寿　　殿

2020年6月吉日

公益財団法人
全日本軟式野球連盟　御中

ミズノ株式会社

弊社野球・ソフトボール用具用品お取り扱いについて

謹啓　入梅の候、日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
　早速ですが、先般非常事態宣言が解除され、今後、感染拡大防止対策を講じながら日常への回復に努められることと存じます。
　つきましては、日頃より弊社野球・ソフトボール品をご愛顧賜っております皆さまへ、弊社製品の消毒等、お取り扱いについて下記の通りご連絡差し上げます。
　ご確認の上、感染防止対策の一環としてご共有の程、何卒よろしくお願いいたします。
謹白

記

1. 用具へのアルコール系、塩素系消毒液での消毒はしないようお願いします。
   ⇒樹脂材料に対して強度低下、白化、劣化等影響が出る可能性があります。
2. 洗浄等の場合は、中性洗剤を薄めて行うようお願いします。
   ⇒ヘルメット、捕手用具、バット、グリップテープ等対象になります。
3. ミズノ販売品のアルコール等使用品（品番：２ＺＧ５８１等）については、用途・取扱い上の注意をご参考に用法等ご注意の上、ご使用ください。

以上